

大槌の「人」の魅力を発信する ひょっこりひょうたん塾通信

Tatsutto

vol.5



発行日 2015年11月20日
発行 特定非営利活動法人つどい
web サイトでも、通信が見られます。
HP <http://www.hyotanjuku.jp/>
FB <https://www.facebook.com/hyoutanjyuku>
撮影場所 / 須賀町
表紙モデル / 大槌ウインド・オーケストラ

この冊子は「平成27年度 岩手県復興支援の担い手の運営力強化実践事業」の助成金によって作成されています。

人と接するこの仕事が好き
そして家族が好きで大槌にいます



Tatutto なひと
岩崎友美さん (36)
(株) 大槌タクシー

タクシー業務に就くまで

お客様の信頼と命を預かり、安全に快適に目的地へお送りする「タクシー運行」という業務。震災後は、鉄道が不通になったこと、多くの被災者が車を流失したこと、そして、報道陣やボランティアの方々が被災地に足を運んだことで起こったタクシー運行業務の多忙さは記憶に新しいところです。その現場で働くひとり、岩崎さんは大槌町安渡の生まれで、高校卒業後、県内の短大を卒業し、大槌へUターンしてきました。

「県外へ就職するとか関東方面へ行きたい気持ちはありませんでした。家族が好きだから大槌にいる、という感じですよ」と笑顔を見せる岩崎さん。Uターンしてからは、大槌町役場の臨時職員としてプールや学童保育の現場で勤務していました。平成19年に、家族がタクシー会社を運営することになり、そこで働くことを決め、この仕事に就いて8年目と云います。

福祉タクシーを運転して

「昔から、人と接することやスポーツが好きで、保育という仕事にも興味があり、それを活かせる仕事をしてきました。タクシーの仕事をするようになった

てから、タクシー関係の資格をとり、福祉タクシーも運転出来るようヘルパーの資格もとりました。この仕事を始めてから1年でお客を乗せて運転するようになりました」

震災時は、末広町にある車庫に、タクシーで避難させて欲しいと近所の方々がいらしたそうです。何台か車を出し、避難の誘導もしたと言います。現在も、事務やお客からの電話の対応のほか、「福祉タクシー」などの運転業務もこなしています。

「福祉タクシーは、諸処の事情から、なかなか気軽に外出出来ない方々から喜ばれています。ご自分で出かけて、買い物などで好きなものを選ぶ、この喜びを実感して頂くのが私自身も嬉しいです。福祉タクシーに乗車いただく方々とはずっとお付き合いが続いています」



おおつちタクシー

(株) 大槌タクシー
〒028-1131
大槌町大槌 24-23-1
TEL 0193-42-2256

(文 駒林 奈穂子)

町の復興と自分に出来ること

震災後は、100%の力を、毎日100%使っていると云います、とも話す岩崎さん。「仕事ばかりやっていると思目だな、と感じました。仕事は好きなので、仕事が嫌にならないように切り替えが必要だと思えます」

そして、「町の今後について、未来予想図みたいなものが描けるように、今、自分の出来ることをしっかりとやっていきたいですね」と話す岩崎さん。取材中にも鳴り響く、電話や無線からの連絡にテキパキした中にも、笑顔で温かさあふれる明るい声で対応している様子からは想像出来ない今までの頑張りがあったのだろうと思いつながら取材先をあとにしました。

癒しを感じるこだわりの店内

小槌川近く、花輪田地区の一角に今年の4月にオープンした美容室、a * lounge Heath (エー・ラウンジ・ヒース)。「Heath (ヒース)」は紫やピンクの鐘型の小さな花をつける、ツツジ科エリカ属のラベンダーに似た花であり、また、「荒野や荒地」という意味も持っています。

「美容室でもあり、憩いの場、ラウンジ的なお店にもしたくて外観や内装にもこだわりました」という小林さん。白を貴重としたモダンな外観は一見美容室ではなくカフェのよう。店内は吹き抜けのある開放的な空間が心地よく、リラククスしてヘアケア、マツエク(睫毛のエクステンション)の施術を受けられます。

独立してお店を開くまで

小林さんは釜石市の出身。子どもの頃から美容室が好きで、「大きくなったら美容師になりたい」と、この道に進みました。8年前に大槌へ嫁ぎ、その後も美容師として仕事を続けていました。「いつかは家を建ててお店を併設したい」と思ってきました。独立前に勤務していた職場では技術はもろろんのこと、

「美容師としての気持ちの持ち方、自分の高め方」を教わったと言います。

「(以前の職場では)鍛えられました。お客様へのサービスや技術には妥協のない、気概を持った上司の元で、スタッフたちは技術や美容師としての心構えを伝授されたと思っていますし、それが今の私につながっているのだと感じます」小林さんからはふわっとした優しい、人をリラックスさせる雰囲気の中にも、店名の持つ「荒地地に咲く可憐で凛とした透明感を持った花」というたくましさを感じました。

お客様から長く愛される店に

「美容室ですと土日にお客様が集中しますが、家族が協力してくれるのでありがたいです。平均すると毎日2〜3人のお客様がみえます。独立したと

き、『以前の職場のお客様は、私に付いたお客様というよりこのお店に付いたお客様だったんだ』というのを目の当たりにして、『ここ、大槌で一からやらねばならない』と痛感しました。小さい町ですから、口コミで来て頂くのが一番で、一人ひとりのお客様が未長く、お子様などその家族も一緒に来て頂けるような店でありたいと思っています」

「仕上がったときのお客様の喜んでくれる顔を見たとき、初めてのお客様が二度目に足を運んでくださったときがとても嬉しい」と話す小林さん。今後も大槌の一角で小さな花を咲かせるように、一つひとつ小さな煌めきや幸せを作っていくでしょう。

(文 駒林 奈穂子)



a * lounge Heath..
(エー・ラウンジ・ヒース)
〒028-1121
大槌町小槌 27-12-2
TEL 0193-42-5447 (予約優先制)

お客様がリラックス出来る空間を
大槌に創りたかったんです

Tatutto なひと
小林えり香さん(36)
a * lounge Heath..





山小屋に着くと、テーブルにクロスを広げそれぞれが持ち寄ったものを並べる。お湯を沸かしスパイス入りのホットワインやフルーツティーを準備する。

最近「山ガール」という言葉を耳にするようになった。山ガールとは山でのファッションや料理を楽しむ、時に頂上を目指さない山歩きを楽しむ若い女性のこと言うらしい。そんな大槌の山ガールと爽やかな秋晴れの日に金沢の山歩きへ行ってきた。

土坂峠に車を停めて名もない山に入っていく。カエデ、トチ、白樺の美しい紅葉のグラデーションのトンネルのような山道に魅せられ歩いていく。

坂を上がると展望が開け、目の前にパノラマの景色が広がる。そしてそこには隠れ家のようにひっそりと佇む山小屋がある。



大槌には百名山や標高の高い山はないが、安全で手軽に展望の良いところ行くことが出来る。だからこそ山の中で様々な時間の過ごし方が出来る。

もっとたくさんの人に大槌の山の魅力を知ってほしいと思った1日だった。

文・Mikitty 写真・Hana Ozawa 土坂峠頂上付近



焼きたてのパンもナイフで切り分け、山の中心から見える早池峰山と薬師岳を見ながら、飲み物を飲んで山小屋の中で特別な時間を過ごします。

全国のTabutto な取り組み forestry girls @

「林業LOVEな女子のゆるやかな全国ネットワーク」



全国の林業女子会ロゴマーク

林業女子会とは、林業を愛し、アクションする、100年先を考える余裕の女子のプラットフォーム！林業の魅力を発信する「情報発信」仲間づくり「ネットワーク」を目的に活動。林業女子会100の想いより

林業女子とはライフスタイルです。林業(川上)、木材業(川中)、消費者(川下)まで、生業にする人から暮らしの中で楽しむファンまで、林業にさまざまな形で関わるすべての女子のことです。続きはWEBにて・・・

<http://forestrygirls.wix.com/portal>

Tabutto / たつとな

自分のスキルを磨きチャレンジを続けていく人(達人)率先して動き、考え、最後までやりとげる人(立人)地域や周りの魅力・可能性を引き出していく人(発人)「たつとな」彼女達の輝きがまちにすーっと浸透していくことでしょう。

幸せな気持ちを与える空間と時間を作り出す彼女達は、まちの希望を生み出す魔法を知っているかのよう。出会う人々の笑顔と自信を引き出していくtabuttoな女性達なのです。

事務局 二元持幸子

※たつとな大槌の方言 水滴が滴り落ちる様子を表す擬音語